

## 総合的な学習の時間

### 「手話学習：みんなにやさしい町づくり～」

大和市立林間小学校



#### 単元（題材）目標

○「みんなにやさしい町づくり」

視覚障がい、肢体不自由、聴覚障がいなどがある方々について学び、様々な立場に立って私たちが暮らす町を見直すことで、だれにでもやさしい町づくりについて考える。

#### （1）実施時期

平成30年11月1日

#### （2）対象（学年等・人数）

第4学年 5学級 171名

#### （3）指導者（教諭・外部講師等）

外部講師：大和市聴覚障害者協会・大和市手話通訳者の会

#### （4）実施内容

○各学級で手話体験を行い、講話を聴く

\*各学級、聴覚障害者協会講師1名、手話通訳者1名

①簡単な手話に関する基本的知識を学び、あいさつや自分の名前、漢字の形などを手話で表現する。

②指文字による五十音の表し方を学ぶ。

③講師の生い立ちを通して、日々の思いや生き方を学ぶ。

④聴覚障がい者の方々の生活の様子を聞く中で、生活の工夫や生活の中で困難に感じることを知る。

⑤質疑

#### （5）成果

○手話という手段を使って、聴覚障がい者の方との会話を楽しみ、積極的にコミュニケーションをとりたいと思う態度を養うことができた。

○聴覚障がい者の立場から、私たちの身の回りの様子を見直し、だれもが生活しやすい社会を考えるきっかけを作ることができた。

○聴覚障がい者を支える様々な生活の工夫を知ることができた。また、4年生という立場でも自分にもできることがあるのではと、考えることができた。

○聴覚障がいを理由に様々な困難がある中でも、前向きに乗り越えようとする講師の話聞き、生き方についても考える機会となった。

#### （6）その他〈子どもたちの感想より〉

○自分の名前を教えてもらって、簡単にできた。楽しかった。

○手話はたくさん意味や種類があるということを知った。

○手話があれば、聞こえない人でもみんなとしゃべることができると分かった。

○耳の障がいがあっても、毎日が楽しそうだとわかった。